

大衆運動

在日米軍再編関連

平成二二年四月、普天間飛行場移設問題をめぐり、沖縄県読谷村（主催者発表約九万人）や鹿児島県徳之島（同約一万五千人）において、大規模な反対集会が行われました。五月の日米合意後も、辺野古移設に反対する団体は、沖縄県内を中心に「普天間基地の無条件撤去、県内移設反対」などと訴え、抗議集会やデモに取り組みました。

二三年も引き続き、国内外の諸情勢を敏感に捉え、在日米軍再編問題を中心に、多様な勢力を結集した運動が取り組まれるものとみられます。



県内移設反対集会（4月、沖縄）（時事）

雇用問題関連

全国労働組合総連合（全労連）は、二二年七月に開催した第二五回定期大会において、「大企業中心社会からの転換、貧困と格差の解消、雇用の安定とディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）の確立、社会保障の拡充」等を運動方針として掲げるとともに、九月から毎月第三金曜日を「ディーセント・ワークデー」に設定し、労働者派遣法改正や有期雇用規制強化を求める運動を行いました。



最低賃金の引上げを求める取組み（8月、東京）（共同）

全労連は、二三年も、労働者派遣法の抜本改正、社会保障制度の拡充等を求める運動に取り組むとともに、他の労働組合や様々な市民団体との連携を図りながら、組織拡大を図っていくものとみられます。

過激な反グローバリズム運動

二二年六月、カナダ・トロントで開催されたG20サミットでは、労働組合や市民団体等約一万人が取り組んだデモに、反グローバリズムを掲げる勢力が押し掛け参加し、一部が暴徒化して警察部隊と衝突し、約九〇〇人が身柄を拘束されましたが、一月、韓国・ソウルで開催されたG20サミットでは、逮捕者はなく平穩に終了しました。



横浜APEC反対を訴える勢力（11月、神奈川）

また、一月に横浜で開催されたAPEC首脳会議においても、当初懸念された違法行為を伴う過激な抗議行動はなく、平穩に終了しました。

過激な環境保護団体

過激な環境保護団体「シー・シェパード」は、二一年一月から行われた二一年度の我が国の南極海調査捕鯨に對して、船舶を衝突させたりするなどの過激な妨害活動を行い、その際、捕鯨船に侵入した活動家が逮捕され、同団体の代表も国際指名手配されました。「シー・シェパード」は、今年度の南極海調査捕鯨に對しても、「妥協なき作戦」と称して、過激な妨害活動に取り組むことを表明しています。

このほか、和歌山県太地町のイルカ漁をめぐり、活動家を同町に派遣して「監視活動」を行っています。



捕鯨船に対して放水などの妨害活動を行うシー・シェパード(時事)